

政策	4章 政策2	生活環境をよりよく保つ	
主管課	市民生活環境課	関係課	

1. 政策の方針・指標・関係者の意見等

(1) 政策の対象と方針

対象	政策の方針
市民、地域	良好な生活環境を維持するため、まちの美化については、市民協働により実践されている市民ボランティア清掃に引き続き取り組みます。また、地域や住民主体で取り組む美化活動の支援や、美化意識の向上を図ります。 動物愛護については人間と動物が共存する社会を目指し、有害動物については適切な対策を講じます。 公害に関しては、発生状況を的確に把握し、未然防止や早期の解決に取り組みます。

(2) 政策の基礎的データとなる指標

基礎的指標			単位		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	人口		人	見込値								63,241
				実績値	61,646	62,099	62,270	62,185	62,590	62,406	6,255	
②	自治会数		自治会	見込値					70	70	70	70
				実績値	69	69	69	69	69	69		
③				見込値								
				実績値								

(3) 総合計画等の指標の目標値・見込値・実績値及び施策コスト

(3) 総合計画等の指標の目標値・見込値・実績値及び施策コスト							前期基本計画期間					
指標区分		指標	単位		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度 (前期目標値)
A	総合計画	ハブ咬症被害件数	件/年	目標値					0	0	0	0
				見込値					0	0	0	0
				実績値	2	0	4	0	2	3		
B	総合計画	野良猫の避妊・去勢手術された匹数	匹/年	目標値					150	150	150	150
				見込値					164	200	200	200
				実績値	-	70	120	274	207	293		
C	総合計画	団体等による清掃活動の支援（回収等）回数	回/年	目標値					340	360	380	400
				見込値					340	360	480	500
				実績値	300	332	293	276	296	440		
D				目標値								
				見込値								
				実績値								
E				目標値								
				見込値								
				実績値								
F				目標値								
				見込値								
				実績値								
G				目標値								
				見込値								
				実績値								
H				目標値								
				見込値								
				実績値								
施策コスト		事業費		千円				29,703	12,877	11,535	0	0
		国・県支出金		千円				20,512	2,667	2,850		
		地方債		千円				0	0	0		
		その他		千円				2,598	2,518	2,380		
		一般財源		千円				6,593	7,692	6,305		

※令和4年度以前の数値については、把握できるもののみ入力。

(4) 総合計画等の指標の設定理由及び目標値・見込値の考え方

A	総合計画	ハブ咬症被害件数
	設定理由	公害等の対策の観点から、有害動物からの被害状況として、市民がハブにより健康被害を受けた件数を把握する。（沖縄県ハブ咬症被害発生状況）
	目標値	毎年度0件を目指す。
	見込値	毎年度0件を見込む。
B	総合計画	野良猫の避妊・去勢手術された匹数
	設定理由	動物愛護の観点から、避妊・去勢手術を実施した野良猫の頭数を把握する。（市民生活環境課資料）
	目標値	令和元年度からの事業でもあり、初年度実績の倍の水準程度を目指す。
	見込値	手術費用を助成する公益財団法人どうぶつ基金からのチケット配布が年間170枚(匹)程度、愛護センターが30匹程度、これに糸満市犬猫不妊去勢手術費補助金加えた数値が続くと見込む。
C	総合計画	団体等による清掃活動の支援（回収等）回数
	設定理由	まちの美化活動の推進の観点から、市が把握している各地域で実施される清掃活動の回数を把握する。（市民生活環境課資料）
	目標値	毎月や定期的に美化活動を実施するボランティア団体・個人の増加につなげ、ごみ袋などの物品提供等で清掃活動の支援(回収等)回数の増加を目指す。
	見込値	道路の清掃美化に取り組む個人・団体の増加等により、見込値の増加を見込む。（市民生活環境課、建設課資料）
D		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	
E		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	
F		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	
G		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	
H		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	

(5) 環境変化（個別計画策定状況、近年・今後の外部環境の変化等）	(6) 関係者の意見・要望
・個人からの道路清掃ボランティアに関する相談が増加している。 ・令和４年度から、沖縄県の海岸清掃に関する補助事業を活用している。	・議員から、野良猫に対する補助金の増額を求める要望がある。 ・自治会等から、道路等の清掃に関する補助を求める要望がある。（ガソリン・草刈り機刃等の消耗品代の補助）

2. 政策の実績評価

(1) 令和7年度（前期目標値）の指標の達成見込み							
指標A		総合計画		【 ハブ咬症被害件数 】			
<input checked="" type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由		ハブ捕獲機の設置や貸出し、活動時期等の注意喚起を行い、ハブ咬症被害0を目指す。					
指標B		総合計画		【 野良猫の避妊・去勢手術された匹数 】			
<input checked="" type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由		どうぶつ基金からの避妊強制手術チケットの配布、動物愛護管理センターの手術の協力、個人ボランティア等との連携等により目標達成を目指す。					
指標C		総合計画		【 団体等による清掃活動の支援（回収等）回数 】			
<input checked="" type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由		・自治会清掃やボランティア清掃への支援は継続している。個人・団体の清掃活動（道路関係）が増加している。 ・ホームページやSNS等で積極的に周知を図ることにより、個人・団体による清掃活動の増加等を促し目標達成を目指す。					
指標D				【			
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由							
指標E				【			
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由							
指標F				【			
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由							
指標G				【			
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由							
指標H				【			
<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）		<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由							
指標の数	3指標	うち現在の計画、取り組みにより目標達成見込み	3指標 (100.0%)	うち新たな取り組み等により目標達成の可能性あり	0指標 (0.0%)	うち現在の想定では目標達成が困難	0指標 (0.0%)

(2) 前年度比較（令和4年度の市の取り組み・成果との比較）	
評価	成果がどちらかと言えば向上した
【5段階評価】 かなり向上～どちらかと言えば向上～ほとんど変わらない～どちらかと言えば低下～かなり低下	
理由	・不法投棄等に係る地域清掃やボランティア清掃について、令和５年度は169トンであり令和４年度の194トンから25トン減少した。 ・ボランティアで清掃活動を行う団体や個人が増加している。

(3) 他自治体との比較（令和5年度の実績の県内他市等との状況比較）			
評価	他自治体と比べてどちらかと言えば高い（良い）水準である	【5段階評価】 高い水準～どちらかと言えば高い水準～ほぼ同水準～どちらかと言えば低い水準～低い水準	比較対象 県内11市
理由	・ボランティア清掃や自治会清掃などの廃棄物を市が収集している市は少ない。また、市主催で市民ボランティア清掃（毎月）を行う市も少ない。 ・L o g o フォームでボランティア清掃のごみ回収を依頼できるようになったことから、依頼者の負担軽減につながっている。		

3. 政策を推進する上での現状と課題及び今後の取組方針

(1) 令和6年度の現状（令和5年度の実績を踏まえた政策（施策の展開）の取り組み）	
・現在、塵芥車が1台のため、地域清掃・ボランティア清掃・PTA作業が重なった時は収集に時間を要している。 ・自治会の会員数減少により、地域清掃の参加者数が減少している。 ・ホームページ等で美化意識の向上に係る情報発信を行った。 ・飼い主のいない猫に対する補助額を増額（手術費の8割補助まで増額）したが、増額前と変わらず申請件数が少ないことから効果検証が必要。 ・豚舎等からの悪臭に対する苦情件数が増加していることから、関係機関（中央家畜衛生保健所、南部保健所）との連携による指導を行っている。 ・個人墓の申請件数が増加している。（令和５年度５件、令和6年度14件） ・沖縄県「ハブ咬症防止運動」と連動し、ホームページ等で注意喚起を行った。	
(2) 令和6年度の課題（政策（施策の展開）を推進する上での課題）	
・塵芥車の増車と既存車両の更新、自治会等への補助金制度の創設の調査・検討。 ・どうぶつ基金からの野良猫避妊去勢手術のチケット配布の継続。動物愛護管理センターからの継続的な手術支援。 ・養豚事業者の悪臭対策に係る設備の更新。 ・令和４年度から令和6年度（1月現在4件）まで毎年度ハブ咬症被害が発生しており、増加傾向にある。	
(3) 令和7年度の取組方針（令和6年度の現状・課題を踏まえ、令和7年度に優先的に取り組む予定のもの）	
・まちの美化意識の向上や散乱ごみ防止、不法投棄をさせないまちづくりを促進するため、市民や団体等と協働して取り組む。（広報紙やホームページ、SNSなどでの周知） ・令和6年度と同様に自治会や個人ボランティアと連携し、野良猫の不妊去勢手術に取り組む。 ・関係機関及び関係部署と連携し、臭気調査等の悪臭対策に取り組む。 ・ハブ咬症被害者が増加傾向にあるため、ホームページやSNSの他、自治連絡員会議などで注意喚起を図る。	